

令和4年度

上半期ディスクロージャー誌

(令和4年9月30日現在)



I. 地域貢献に関する取り組み

地域貢献の全般に関する事項……………	1
地域からの資金調達の状況……………	2
地域への資金供給の状況……………	2
農業振興活動……………	3
地域貢献活動……………	4
店舗体制……………	6

II. 財務状況や事業に関する開示事項

農協法に基づく開示債権の状況及び 金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況……	7
主要勘定の状況……………	7
有価証券等時価情報……………	7
その他事業の取扱高の状況……………	8

地域貢献の全般に関する事項

● 協同組織の特性

当JAは、関市、美濃市、郡上市、美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、八百津町、七宗町、白川町、御嵩町、東白川村の5市・7町・1村を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営されている協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関でもあります。

当JAの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としており、資金を必要とされる組合員の皆さまや地方公共団体などにもご利用いただいております。

当JAは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

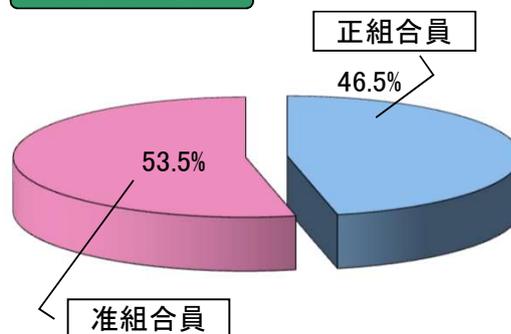
また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

● 組合員数

(単位：人)

資格	令和4年9月末
正組合員	28,424
個人	28,298
団体	126
准組合員	32,649
個人	32,111
団体	538
合計	61,073

令和4年9月末

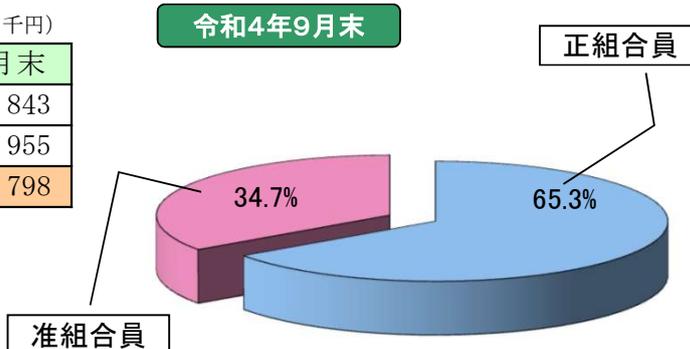


● 出資金

(単位：千円)

資格	令和4年9月末
正組合員	3,229,843
准組合員	1,716,955
合計	4,946,798

令和4年9月末



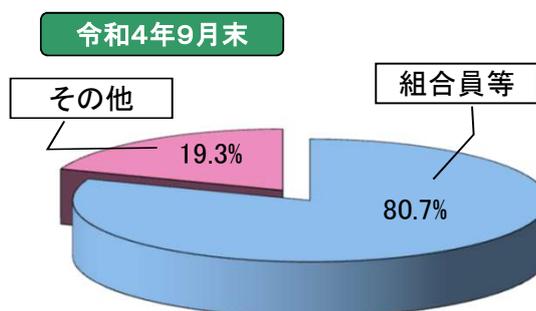
地域からの資金調達の状況

● 貯金・積金残高

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりした貯金残高は、6,463億59百万円（うち定期積金66億18百万円）となっています。

(単位：百万円)

資格	令和4年9月末
組合員等	521,540
その他	124,818
合計	646,359



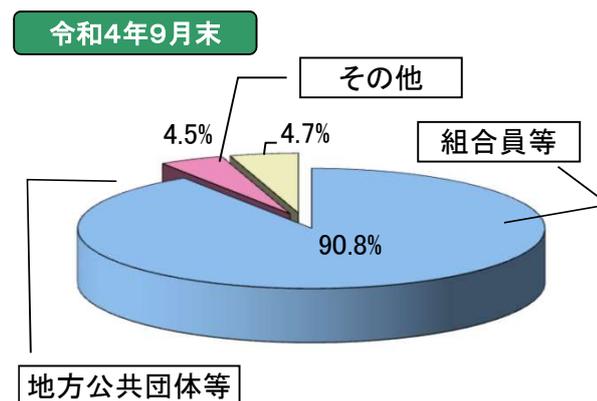
地域への資金供給の状況

● 貸出金残高

組合員をはじめ地域の皆さまへ地域金融機関として農業資金・生活資金の資金ニーズに対応してまいりました結果、貸出金残高は、1,471億21百万円となっています。

(単位：百万円)

区分	令和4年9月末
組合員等	133,599
地方公共団体等	6,571
その他	6,950
合計	147,121



● 制度融資取扱状況

農業者が規模拡大や経営改善等に必要な資金への対応として当JA独自資金や農業制度資金をご利用頂いています。主な資金として、「アグリサポート」「農業近代化資金」「日本政策金融公庫資金」があります。

(単位：百万円)

資金名	資金の使いみち	令和4年9月末
アグリサポート	農業経営等に必要な設備資金および運転資金	1,534 (621件)
農業近代化資金	農業改善のため、施設の取得や農機具・家畜等を購入する場合や長期運転資金を必要とする場合など	18 (11件)
日本政策金融公庫資金	認定農業者の方が、資金規模が大きく償還期間が長い資金を必要とする場合や、農地を取得する場合など	541 (37件)

農業振興活動

安全・安心な農産物づくりへの取り組み

食の安全・安心確保に向けて、農産物の生産情報の開示を行えるよう生産工程管理（GAP）、生産履歴記帳運動を推進し、安全・安心な農産物の供給体制整備に取り組んでいます。

担い手・新規就農者への支援

MAP（担い手専任担当者）7名及び営農指導員22名を専任して、各事業部門と連携しながら、農業者の経営課題解決に向けた総合事業提案に取り組んでいます。

新たに就農を希望される方への支援として、トマトの学校2名の研修生を迎え、就農に向けた研修を実施しているほか、就農塾では、24名の塾生に直売所会員や部会組織加入に向けた研修を実施しています。

また、無料職業紹介事業では当JA情報誌及びホームページや外部求人サイトに掲載する等、労働力支援・確保対策にも取り組んでいます。



新規就農者研修施設修了式・入所式

地産地消・食育の取り組み

農業体験や料理体験・あぐりん活動などの食農活動を通じて「地域」と「人」、「農業」を結びつける活動に力を入れています。

管内小学校が行う米づくりや野菜栽培を支援するほか、直売店利用者（小学生世帯）を対象とした農業体験を実施しています。

また、地産地消の取り組みで連携する関高校に「農業の応援団」特別団員を委嘱し、地産地消を推進するイベントを開催しました。



小学生による地元農産物の栽培体験

農業普及活動

各地域に営農経済センターを設置し、農業の専門知識を持った職員が、農産物の栽培指導や、経営にかかる相談業務などを行っています。

農業関連施設の整備を図り、各農家の農業経営の効率化を図っています。また、野菜ごとの産地化をすすめ、少量からでも出荷してもらえるよう農産物直売所を各地に設置しています。

新たな活動として、クラウドファンディングを活用した産地維持拡大にも取り組んでいます。



家庭菜園教室

地域貢献活動

社会貢献活動

環境問題への取り組み

市町村・農林事務所・普及センターとJAが合同で環境保全と農業振興を目的に、使用済み農業用廃棄ビニールや廃プラスチック等を回収し、リサイクル業者等に引き渡すことにより地域環境の維持に努めています。

また、各支店ではプランターや花壇を利用して、野菜や花を積極的に栽培し地域美化に努めているほか、JA職員互助会では、ため池や河川、各支店・施設周辺の環境保全に役立つように清掃奉仕活動を行っています。

その他、二酸化炭素排出削減運動に呼応し、業務車両にアイドリングストップ機能を備えた車両を導入。地域と環境に優しい運転に取り組んでいます。

福祉活動

高齢者や体の不自由な方を対象にした介護事業に、積極的に取り組んでいます。

管内3か所の通所介護施設ではデイサービスを行うほか、訪問介護事業や福祉用具貸与事業、居宅介護支援事業を行い、多くの方に利用していただいています。

また、JAのセレモニー施設では思い入れのある人形やぬいぐるみ、写真、お守りなどを供養する機会として、人形供養祭を開催しています。



人形供養祭

ボランティア活動

ボランティア活動の一環で、献血推進協議会の協力依頼を受けて、役職員は献血活動に積極的に協力しています。

交通安全・特殊詐欺被害防止啓発

支店・事業所に子ども110番の家、子ども110番の車を設置して、交通安全路上活動を行い地域のこどもの見守り活動に取り組んでいます。

また、管内の警察署等と連携し、特殊詐欺被害防止や交通安全を呼びかける啓発活動を行っています。



特殊詐欺被害防止の呼びかけ

● 文化的・社会的貢献に関する事項

女性部活動

管内5地域に女性部を組織し、趣味や健康等にかかる生活文化活動を展開しています。また、食農リーダーを育成し、次世代への食農教育活動に取り組むほか、各種セミナーを開催し、部員相互の交流を支援するとともに加入促進に取り組んでいます。

女性連絡協議会では、SDGsの目標達成への貢献を目的として、食と農を基軸とした活動を展開しています。



蜜蝋ラップの制作

スポーツ活動

次世代を担う子供たちの健全な精神と肉体を養い、日頃の練習の成果を発揮することを目的にJAめぐみのカップ中濃地区少年サッカー大会（管内全域）並びにJAめぐみの旗争奪学童軟式野球大会（みのかも地域）を開催しています。



JAめぐみのカップ中濃地区少年サッカー大会

● 利用者ネットワーク化への取り組み

年金友の会

当JAで年金をお受け取りいただいている皆さまの親睦と健康づくりに役立てるよう親睦旅行等の企画やグラウンド・ゴルフ大会、シニアゴルフ大会、ゲートボール大会を開催しています。



JAめぐみの杯グラウンド・ゴルフ大会

● 情報提供活動

情報誌の発行

情報誌「めぐみの」を毎月発行（約48,000部）し、当JAからのお知らせや地域のニュースなど様々な情報を発信しています。

また、コミュニティ誌「めぐみのパーク」では、地域の皆さまの暮らしに役立つ情報を発信しています。



SNS活用による情報発信

無料通信アプリ「LINE」を活用した情報発信を行っています。総合事業を展開する当JAの取り組みを幅広い世代にPRすることを目的にイベント情報を中心に配信を行っております。

**JAめぐみの
LINE 公式アカウント**

「友だち追加」はQRコードからご登録ください。
※ご登録にはLINEアプリのインストールが必要です。

ホームページの公開

当JAからの情報発信手段としてホームページを運営しており、各種お知らせやイベント・キャンペーン情報、農産物情報などの提供を行っています。

各種相談会の実施

皆さまのご要望にお応えする形で、年金無料相談会や税務相談会及び法律相談会を開催し、暮らしに役立つお手伝いを実施しています。また、相続セミナーを開催するなど相談機能の強化に努めています。

店舗体制

施設名	店舗数	施設名	店舗数
本店	1	共済プラザ	1
支店	46	損害調査課	1
営業所	23	農産物直売所（とれたたひろば等）	5
営農経済センター及び事業所	7	加工事業所	1
生産資材店舗	5	農機センター	5
配送センター	5	給油所	7
Aコープ	2	自動車センター	3
不動産センター	1	介護営業所	4
資産相談センター	2	セレモニーホール	3
ローンプラザ	2	葬祭営業所	3

農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：百万円)

債権区分	令和4年3月末	令和4年9月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	1,248	1,167	▲ 81
危険債権額	228	338	109
要管理債権額	70	62	▲ 8
うち三月以上延滞債権	68	60	▲ 8
うち貸出条件緩和債権額	2	2	0
合 計	1,547	1,568	20

- 【注1】破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者の対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
- 【注2】危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
- 【注3】要管理債権とは、「三月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」の合計額をいいます。
- 【注4】三月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払い日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。
- 【注5】貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

主要勘定の状況

(単位：百万円)

項 目	令和4年3月末	令和4年9月末
貯 金	641,593	646,359
貸 出 金	145,128	147,121
預 け 金	460,819	458,476
有 価 証 券	34,970	41,495

有価証券等時価情報

(単位：百万円)

保有目的区分	令和4年3月末			令和4年9月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
満期保有目的	11,188	11,124	▲ 64	12,195	11,695	▲ 499
その他	23,734	23,782	47	30,368	29,300	▲ 1,068
合 計	34,923	34,906	▲ 17	42,563	40,995	▲ 1,567

- 【注1】時価は基準日における市場価格等によっております。
- 【注2】取得価額は取得原価又は償却原価によっております。
- 【注3】売買目的有価証券はありません。

その他事業の取扱高の状況

(単位：百万円)

種 類		令和3年9月末	令和4年9月末	増 減	
共済事業	長期共済保有高	1,196,304	1,146,643	▲ 49,661	
	長期共済新契約高	103,221	67,633	▲ 35,587	
	短期共済掛金	1,124	1,109	▲ 15	
購買事業	生産資材	2,528	2,676	148	
	生活資材	908	903	▲ 5	
	合 計	3,436	3,579	143	
販売事業	受託販売品 取扱実績	米・麦・大豆類	212	202	▲ 10
		園芸特産品	927	1,140	212
		直 売 所	576	587	10
	買取販売品 取扱実績	畜 産	1,592	1,547	▲ 44
		直 売 所 等	294	283	▲ 10
		合 計	3,604	3,761	157
利用事業（事業収益）		481	488	7	
葬祭事業（事業収益）		429	474	44	
加工事業（事業収益）		495	500	4	
（うち ハム加工）		(446)	(456)	(9)	
福祉事業（介護保険事業外）		65	56	▲ 8	
介護保険事業 （事業収益）	訪 問 介 護	54	55	0	
	通 所 介 護	88	81	▲ 6	
	福祉用具貸与	174	178	4	
	居宅介護支援外	54	56	1	
介護事業合計		437	428	▲ 8	



とれったひろばイメージキャラクター
トレミちゃん